

事業番号	08 02 02	事業改善シート（令和元年度実施事業分） 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検			
事業名	観光業就業促進・生産性向上対策事業	部局	観光部	課・室	観光誘客課
		実施期間	H25～	E-mail	kankoshin@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）					
8つの重点目標	観光消費額				
総合的に展開する重点政策	3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり				



1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】 県内観光業は、慢性的な人手不足が続く一方、働き方とライフスタイルの不一致や不規則な勤務体系等により離職率が産業別で最も高くなる等、人手確保と労働環境の改善、生産性向上の取組が急務となっている。
	【目指す姿】 これまでの人材育成の取組に加え、人手不足対策へ即効性のある「観光業人手不足緊急対策事業」を新たに実行することにより、慢性的な人手不足や若者の働き方とライフスタイルの不一致、低い生産性からの脱却など、旧来型発想の転換や生産性向上の課題解決を目指す。
	【実施内容】 観光地でのインターンシップの取組支援、海外現地採用面接会の開催等外国人材の採用支援、丸の内朝大学での「事業承継」をテーマにした講座の開講、観光業就業促進・生産性向上協議会の開催 等

指標及びその達成状況 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						事業コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度
No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値		達成状況	前年度繰越	
1	宿泊業、飲食サービス業就業者数(各年末)	56,550	62,616 [↑]	68,085 [↑]	63,336	達成	予算額	8,549	17,084
2							合計(A)	8,549	17,084
3							うち一般財源	5,275	7,552
4							決算額(B)	5,171	14,178
							職員数(人)	0.8	2.5

成果指標設定理由	観光業における就業促進、生産性向上への取組が観光産業での人材確保につながるため成果指標に設定 〔基準値56,550人（H29.12末毎月勤労統計）の5年後（R4年）目標値73,515人（基準値の1.3倍）を元に算出〕
----------	---

達成状況の分析	若者や外国人材等多様な担い手の確保、育成を目的とした各種事業の効果があり、目標を達成できた
---------	---

主な取組	観光地におけるインターンシップの取組を支援 ・日本学生観光連盟や全旅連と連携した温泉地でのインターンシップを開催(参加者25名) ・インターンシップ推進員による観光地と大学との連携を推進(4地域)	
	海外現地採用面接会の開催等外国人材の採用を支援 ・ベトナム政府と観光・介護分野の人材交流に関する覚書を締結(R1.8) ・観光事業者向け外国人材採用セミナーを開催、外国人材のニーズを喚起(参加21社) ・海外現地採用面接会を開催、現地の若者に対し県内観光業のPRを実施(開催地:ミャンマー)	
	首都圏ビジネスパーソン向けに宿泊業への関心を喚起 ・「丸の内朝大学」と連携して「事業承継」をテーマに「旅館を継ごうクラス」を開講(受講者25名)	
	観光事業者と連携して観光分野における就業促進・働き方改革の基本方針を策定 ・観光業就業促進・生産性向上協議会の開催(2回)	(ベトナムとの覚書締結)

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> 高い離職率と高齢化による慢性的な人手不足 勤務時間や勤務日が不規則な働き方等が若者の就職ニーズとミスマッチングにより高い離職率や従業員の高齢化が進み、慢性的な人手不足が続くなど、多様な人材の就業促進と企業・地域への定着が課題 観光客ニーズの多様化と低い労働生産性 インバウンドや個人旅行の増加など観光客ニーズの多様化に対するマーケティングの強化と観光業の特性である繁閑の差やIT化の遅れ等に対する労働生産性の改善が課題 	<ul style="list-style-type: none"> 若者や移住希望者等の就業促進 インターンシップやキャリアビジョンの情報発信、外国人材の受け入れ環境整備の推進等により観光業で働く魅力を伝え若者等の就業促進を図る。 労働生産性の向上 マルチタスク、ITの導入促進等による業務改善、高付加価値サービスの提供等による生産性向上を図る

事業番号	08 02 02	細事業一覧（令和元年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	観光業就業促進・生産性向上対策事業		部局	観光部	課・室	観光誘客課

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R 1 年度 決算
1	観光人材育成強化事業		5,171 千円	5,230 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	観光インターンシップ支援事業	負担金	インターンシップ推進員を配置して、インターンシップフェアでの啓発活動等を実施（70名に対し地域や受入企業とのマッチングを実施）	
2	信州サービス産業レベルアップ事業	直接	高付加価値型・高収益型のサービスの実践者を講師に招き、観光関連事業者を対象に研修会を開催〔2回〕（参加者64名）	
3	観光地域づくり寄附講座開設事業	直接	県内大学（長野大学）で先進的な取組を実践する観光事業者等を講師に招き、観光地づくり等を学ぶ講座を開講〔10月～1月〕（受講者93名）	
4	観光人材バンク事業	負担金	マーケティングや情報発信等に長けた専門人材を登録する「観光人材バンク」を開設し、市町村、DMO、観光事業者等への紹介を実施（登録者数21名、活用実績8件）	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R 1 年度 決算
2	観光業人手不足緊急対策事業		0 千円	8,948 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	日本学生観光連盟と連携した観光インターンシップ事業	直接	全旅連と連携し、山ノ内町の旅館8施設において日本学生観光連盟の所属学生25名のインターンシップ受入れを実施（9/1～9/6）	
2	観光業の未来を拓くキャリアビジョン情報発信事業	委託	産業労働部と連携し「シューカツNAGANO応援隊」の別冊「シューカツNAGANO応援隊～観光編～」を作成、観光業を牽引する経営者へのインタビューの他、観光業の若手社員へのパンフレット取材、就職活動中の学生との交流会を実施	
3	観光業外国人材採用支援事業	委託	<ul style="list-style-type: none"> ・ベトナム政府と観光・介護分野の人材交流に関する覚書を締結（8月） ・事業者向け外国人材活用セミナーを開催（9/10、9/19：参加21社） ・観光事業者による海外現地面接会を開催（12/21ミャンマー：来場者40名） ※2/22ベトナム会場は新型コロナウイルスの影響により中止	
4	観光業地域プロデューサー発掘養成事業	委託	「丸の内朝大学」と連携して、首都圏のビジネスパーソンを対象に宿泊業の事業承継をテーマとした「旅館を継ごうクラス」を開講（期間：10月～11月の毎週金曜朝、受講者25名）	
5	「観光業就業促進・生産性向上協議会」構築事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・観光事業者と連携して中長期的取組の方向性を議論するため「観光業就業促進・生産性向上協議会」を開催（第1回7/9、第2回9/19） ・3月に「長野県就業促進・働き方改革基本方針」の観光分野を取りまとめ 	